

話題店を訪ねて

有限会社菊地原商店

〒232-0031 横浜市内南区永楽町1-14
電話：045-231-0185
FAX：045-252-5567

**お客様とメーカーのつなぎ役として、大きな存在感を発揮。
一生懸命に徹してやりぬく姿勢で、頼りにされるお店です。**

全国で最も人口が多い市、横浜市。横浜港、みなとみらい地区、横浜スタジアム、そして中華街など、数多くの観光名所を備えた人気のエリアです。この横浜市を中心に、神奈川県全域を商圏とされている「菊地原商店」さんをお訪ねしました。

**安心して購入していただくために。
確かなアフターサービス体制。**

「学校卒業後に親戚が経営する砥石問屋に就職。そこで7年ほど勤めた後、独立しました」と創業社長の菊地原和夫さん。創業は昭和38年で、その当時は、職人さんのご自宅を一軒一軒、自転車やバイクで行商されていたそうです。まだ現在ほど道路の整備が行き届いていない時代、ご苦労されたことがうかがわれます。その後、時代の流れとともに取扱商品が、手工具から電動工具・木工機械へと変化。「新しい製品が出たら、特長や使い方をすぐに覚えて、お客様にご提案してきました。またお客様のご要望を積極的にメーカーに伝えることで、信頼され、頼られ、商売が発展してきましたね」。

お客様とメーカーのつなぎ役として、大きな存在感を発揮される菊地原社長。自身の経営哲学を「頼まれていったん引き受けたからには、中途半端なことはせず、徹底的にやりぬく。一生懸命に尽くす」と語ります。一生懸命に徹してやりぬくという姿勢が如実に表れている例が、アフターサービス。「機械を売れば修理はつきものです。そこがしっかりしていないと、お客様も安心して商品を買えません。私はもともと機械をいじることが好きだったというのがありますが、修理技術を身につけるため、日々専門的な知識の習得に努めてきました」。事務所に飾られた一級技能検定合格証書は、こうした努力の証とも言えるでしょう。「菊地原商店」さんでは、修理の依頼があれば、すぐに駆けつけるそうです。「お客様の身になって対応することが大事。長くお付き合いさせていただく

は、精一杯仕事に取り組んでいくしかありません」。真摯な姿勢が伝わり、何十年も取引が続いているお客様も多いそうです。

**多くのお客様が楽しみにする
年に一回の酉の市での展示会。**

商売のスタイルは、現場や工務店、木工所などへ営業に出かけることがほとんど。来々80歳を迎えられる社長ですが、まだまだお元気で、今も車に乗って営業に出かけておられます。

外回りの商売は嫌いではないとおっしゃる一方、「お客様に店を覚えてもらいたい、お客様との結びつきを強くしたい」と平成2年から金刀比羅大鷲神社の酉の市の日に展示会を開催されています。「職人さんはお酉さんの日に熊手を買にくるので、そのついでに寄ってもらえれば」と考えたのがきっかけだそうです。仕事帰りに寄る方が多く、夜の方が賑やか。製品の展示・実演・販売はもちろん、軽食や飲み物、さらにはプレゼントのミニ熊手もご用意されています。初回から反響が大きく、今では毎年楽しみにしているお客様も多くいらっしゃるのだとか。「一年に一回はお店に足を運んでもらいたいですね」。特に昨年は20回目の展示会ということで盛大に開催。弊社の営業スタッフもご協力させていただきました。

実は社長、同業者で組織されている日立工機販売共栄会の会長を、平成5年から務めておられます。この会は今年で発足50周年、さらに会長に就任されて20年目の節目の年ということもあり、会長職を勇退されるようです。「秋には50周年記念の北海道旅行があるので楽しみ」とこやかに話されます。



木工機械が多く並ぶ店舗



日立製品展示コーナー



製品を上から吊るすユニークな展示



チップソーもきれいに展示



「菊地原商店」外観



代表取締役 菊地原 和夫 さま

**世の中の動きを感じながら、
新しいことに挑戦して欲しい。**

「とても真面目で、仕事に興味のような人」と社長について語るのは、娘婿で後継者でもある本橋保さん。片や社長に二代目に引き継いで欲しいことをお伺いすると「自分が商売をやってきた50年と、これからの50年は違う。これまでも廃れていったものもあれば、残っているものもあります。時代にそって考え、商品だけではなく、販売方法も常に新しいものを取り入れていって欲しい」とお話しされました。

売れ筋の商品は、コードレスインパクトドライバ(WH14DBAL2)、高圧エアコンプレッサ(EC1445H)、高圧ねじ打機(WF4H2)。「日立製品は良い部品を使っていて、耐久性がある。信用度が高く、安心してお客様にお勧めできます」と高い評価をいただきました。

「電動工具が出始めた頃は、建築ブームと重なり売り上げが好調。電気カンナや丸のこ、角のみなど、よく売れました。今は建築業界も変わってきており、販売が厳しい時代。メーカーには画期的な新製品を開発して欲しいですね」。また本年開設した日立工機販売・横浜営業所についても「これまで以上に協力して、販促活動ができるように期待しています」とのご要望。弊社としても、さらなる販売店様との関係強化に尽力する所存です。

横浜の地で50年。社長が築いた礎のもと、二代目がどのように発展させていくのか、これからのますます楽しみなお店です。



金刀比羅大鷲神社とプレゼントのミニ熊手



「菊地原商店」スタッフ



毎年大盛況の展示会

会社概要

代表者名 菊地原 和夫(一代目)
創業年 昭和38年(1963年)
従業員数 男性2名 女性2名(計4名)
商圏 横浜市内、神奈川県全域
主な取扱商品 木工機械・電動工具・空気工具
木工刃物及び研磨
現場工具一式・各種接着剤



神奈川県

横浜市